

ひと・夢・まち 町長コラム

なかやま温故知新～伝えられて伝えていく～（令和6年5月号）

表題は中山町誕生 70 周年を迎えた今年度の取り組みにおけるスローガンです。過去の歴史や伝統を大切にしつつ、新たな価値やアイデアを生み出していく姿勢を表しています。

中山町が 70 周年の歴史を持つことに敬意を表し、先輩方の知恵や体験を大切に、それらを生かしながら新しい時代に適応していく「温故知新」は、地域の発展や継続にとっても重要なことです。そして、その歴史や文化、価値観を「～伝えられて伝えていく～」ことが、私たちの責任でもあります。過去から学び、それを次世代に引き継ぎ、未来へと繋いでいくことが、中山町のアイデンティティや絆を強化し、地域社会全体の発展に貢献することができると思うのです。

小塩・達磨寺地区の田植え踊り、土橋獅子踊りなどの伝統芸能は、地域で絶やさず継承され、地域の歴史と未来を結びつける優れた精神を表現しています。その他にも町内には優れた素晴らしい伝統が沢山あります。ひょっとしたら、皆さんの地域にもまだ隠れた重要な歴史があるかもしれません。それを掘り起こしていただけたら幸いです。

中山町の大切な伝統「芋煮会」。先月発表した「未来の芋煮レシピコンテスト」は、古いものを温ね^{たず}新しいものを創造し、明るい町を創りあげていこうという企画です。ぜひ皆さんも一案考えていただき一緒に未来の中山町をつくっていきましょう。